

Knot

鉄道と街づくり

鉄道の祖である蒸気機関車は産業革命の1800年代に英国で開発され、人々の移動手段というよりも、大量輸送の行える物流としての役割を担ってきた。そのため、舟運とのつながりを重視し、港湾や河川沿いを中心として路線が伸ばされてきた。このように、大陸間で大量輸送の行える物流としての役割を持っていた鉄道はやがて人々の交通手段となり、鉄道がもたらした移動スピードの変化はまちの形に大きな変化をもたらしたと考えられる。前述した、路線が河川や港湾沿いに敷かれる現象は世界各国の鉄道で見られ、当時は駅というものが街の中心部ではなく、少し離れた郊外などに設置されているケースが多くなっていた。欧州ではそのような理由で市街地中心部には路線が引けず、郊外地区を中心に鉄道網が発達していったが、関東大震災による街の大量消失により、復興計画をすすめることとなった日本はまちづくりのなかに鉄道を取り入れた開発を行うこととなり、後に現在の駅と街の一体開発が進むこととなる。この駅とまちを総合的に設計することが現在ではTODと呼ばれ、この手法は世界で用いられている。そして現在、交通に関する課題として、ヨーロッパでは脱車社会化による環境問題の改善、米国は駅及び駅周辺機能の強化といったものがある。

敷地現況



敷地図

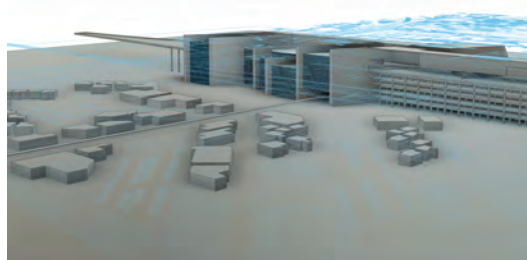
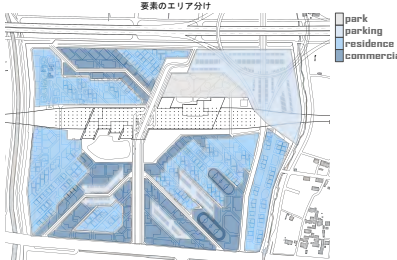
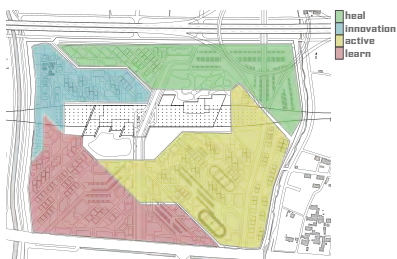


街づくりのコンセプト

・周辺の建物はなるべく階層を低く抑え、縦ではなく横に広げることでコミュニティの多様化と景観との調和を図る。駅周辺の開発においては、利益の確保など経済的観点から、建物を上に積み上げることによって周辺建物の計画をおこなう手法が一般的であったが、今回は駅周辺を低層の住宅や店舗を広げることで、極度な高密度化を防ぎ、景観の圧迫感を抑えることにした。高層化しない場合におけるデメリットは経済的なものだけではなく、周辺環境にも影響を与えることがある。高層化しなかった場合は本来高層階にあるべきだった床面積が横に伸びてしまうことによって、スプロールが起きてしまう。そこで市の中心部である甲府駅までのフィーダー（BRTまたはモノレール）の各駅もしくは停留所周辺にそれぞれの都市機能をちりばめることによって、床面積の緩やかな分散を行う手法を取り入れて、街づくりを計画した。

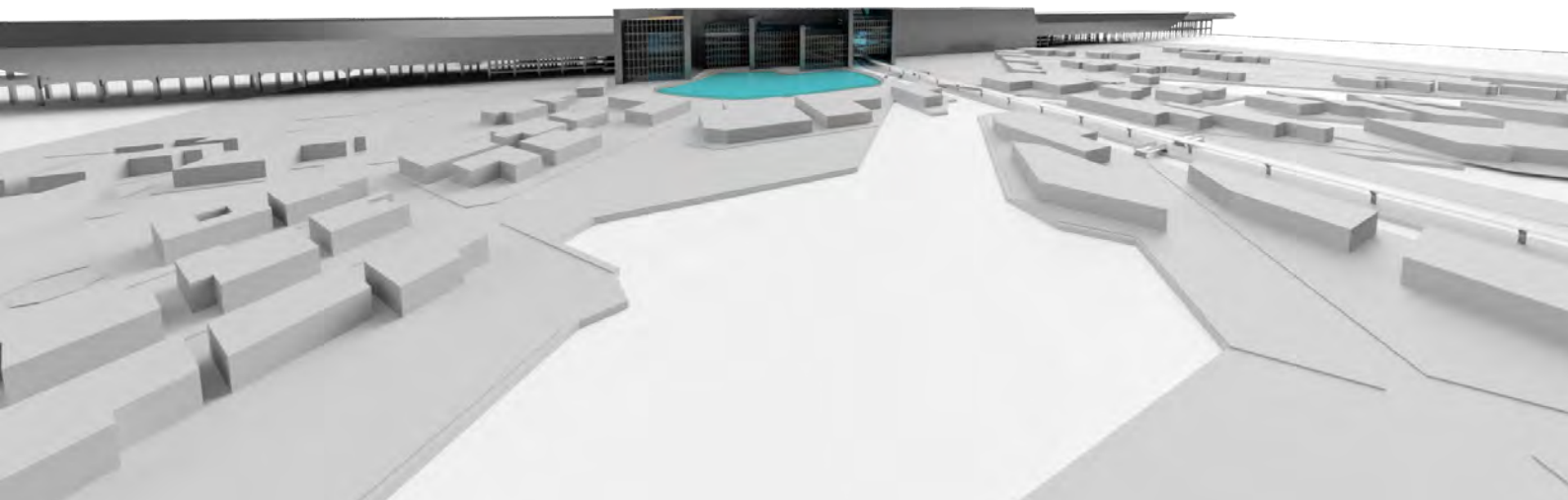
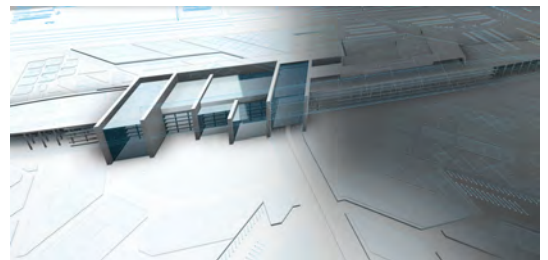


ゾーニング



・高架のサイクリングロードを設けることで、事故の軽減を図り、自然に触れあいながら住民や観光客の移動手段としての役割を持たせる。シェアサイクルや温泉・整備場を設けることで、さらなる観光客の増加につなげる。

・道路は駅からのアクセスを意識し、駅から放射状に大通りを配置した。・自動車での移動をなるべく減らし、公共交通機関や自転車での移動手段を強化することで、環境問題の改善や事故などの未然防止につなげる。・道路沿いに店舗を設け、国道前には大型店舗、駅前通りには観光客にも立ち入りやすいような小型店舗を配置にする。



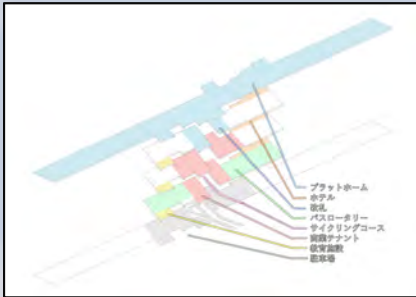
コンセプト

リニアモーターカーによって今まで新幹線などが通っていなかった部分が結ばれることを駅に表現しようと考え、ブラッドノットという釣り具を結ぶ際に用いられる2つのラインを結び手法の中で、比較的強度の高い結び方を形状に取り入れた。二つの駅舎を垂直に交差させることなく、あえてずれを生じさせることで南側は中央広場、北側はパーキングスペースとのつながりを高めることができた。駅舎と街並みの景観を壊さないよう、駅前には大きな広場を設けた。これにより駅と周辺建物のアクセスを意識しすぎるあまり、駅前に建物が密集し、圧迫感が生まれることを軽減させた。

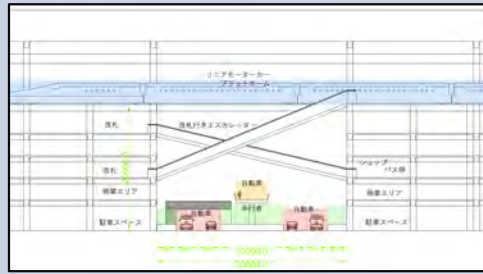
ルート

現在、地上において最高速の移動手段である新幹線では沿岸部を中心に路線が敷かれ、都市が発展してきた。将来リニアでは山間部を貫くように路線が整備されることによって、直線距離に近いような形で東京～名古屋間を結ぶことになるため、ますますの利便性向上が考えられる。特に今まで新幹線などが通っていなかった盆地エリアでの開発が期待される。

平面構成

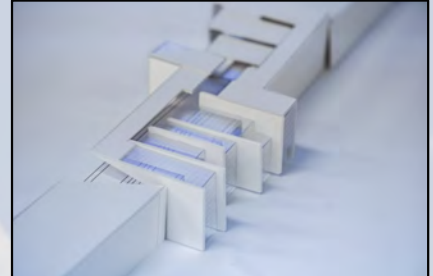
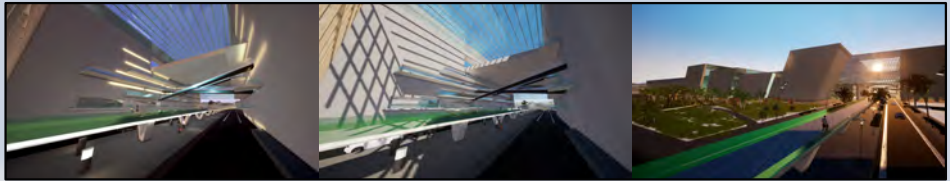
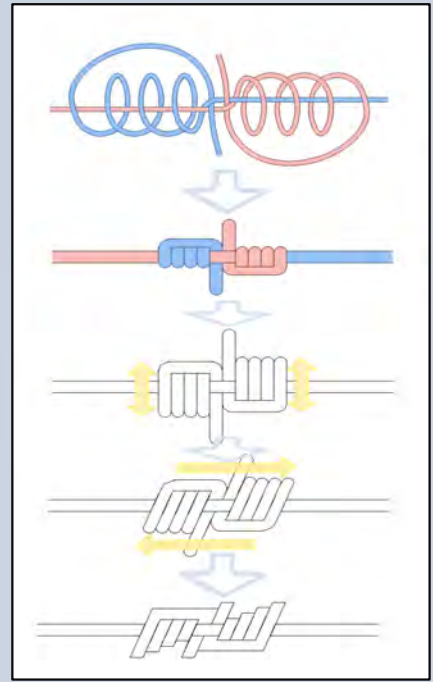


異なるスピードの可視化

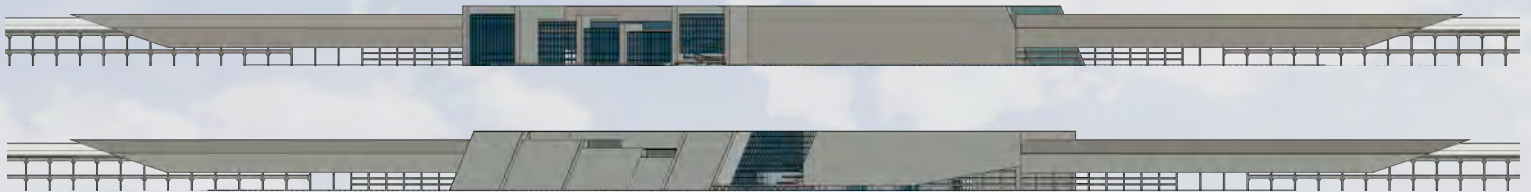


断面構成としては最上階（6階）のリニアモーターカー走行面であるプラットフォームから下向きに改札、バス停、店舗、駐車場が並ぶ。自転車、歩行者、自動車をレベル差で分離させ、事故防止や信号による停車時間を減らす構成とした。駅内大通りに入ると、リニアモーターカー、自動車、BRT、自転車、歩行者が個別のレベル差にテリトリーをもち、互いにぶつかり合うことなく移動が生じていることが視界に現れる。

ダイアグラム



立面図



断面図

